

平成 31 年度 西砂学習館運営協議会（令和 2 年 2 月）会議録概要

日 時：令和 2 年 2 月 12 日（水）午後 6 時～8 時 30 分

出 席：大橋 加藤 広瀬 進藤 小林 岩元 森 増田

事務局：石川 俣本

欠 席：小笠原 長谷川

1. 開会のあいさつ

大橋：2 月は地域活性化講座「にしすな夜間塾」、「地元を学ぼう」、「認知症予防講座」の 3 講座を予定。実施後は次年度に向けて企画案検討の時期になる。これまで実施してきた講座をさらに良くする為に、改善案を考えて欲しい。

2. 平成 31 年度地域活性化講座について

(1) 「パパもママも学びたい！楽しみたい！にしすな夜間塾～姿勢教室」（2 月 21 日）

石川：今回は 7 組 19 名が参加予定。協力委員は大橋会長・進藤委員・岩本委員・増田委員・小笠原委員。集合は 18 時に西砂児童館。

(2) 「地域の再発見・地元を学ぼう西砂・砂川地区の歴史」（2 月 22 日）

石川：協力委員は大橋会長・広瀬委員・岩本委員・長谷川委員。集合は 13 時 30 分。27 名参加予定。

加藤：同じ日に財政を考える会の講座を行う。

(3) 「気軽に学べる認知症予防講座」（2 月 29 日）

石川：協力委員は大橋会長・進藤委員・岩本委員・広瀬委員・増田委員。15 名参加予定。集合は 9 時 30 分。15 名程度参加予定。個別に施設に行きチラシを配布してくる。

岩本：先日、秋間センター長と打ち合わせをした。

(4) 西砂サマーイベントの企画について

石川：市民リーダー講師紹介の冊子が生涯学習係から配布された。冊子を元に大橋会長が詳しい資料を作ってくれた。

大橋：資料参照。早目に市民リーダーの確保をする必要もあり以前の講師の状況をまとめた。アンケート結果からどの講座も半数以上が「楽しそうな企画」、「宿題に利用できそう」が申込理由にある。区分けは「作るもの」・「ゲーム・遊び」・「料理」・「実験」・「その他」でまとめた。これ以外の講座を開く場合講師の存在が重要課題となる。講師をさがす所は市民リーダーと思う。実際にやってみたい講座が出てくれば冊子から講師を探せばよい。勉強と宿題のお手伝いで午後の時間を取っているが前半は子

ども達も宿題・学習があるので真剣に取り組むが、後半は途中から離席してしまう。宿題・学習が終わってしまったからかもしれない。従来通り進めるのかまたは1時から2時までは学習で、2時以降何か企画するか検討しまとめる必要がある。小笠原委員からの提案で「いのちの講座」をサマーイベントで行いたい希望がでている。

石川：西砂・松中小学校の夏休みの日程を確認する。

大橋：予定を立てる上で夏休みの日程は分かったほうがいい。2020年に向けて継続してほしい講座があれば話してほしい。

岩本：図書館の講座は継続してほしい。

広瀬：今年の正方形パズルは早くできた子は称賛されて、出来ない子は気分が沈むような講座の形式は良くない。グループで話し合っ出来るような内容・取り組み方がいい。

大橋：グループワークの場合、兄弟は別だが事務局で席を決めるグルーピングはいいと思う。

広瀬：正解はないがグループで話し合っ発表してもらう講座が1つはあっていいと思う。何かを作るよりもグループで課題解決を目指す方がいい。

石川：パンづくりはグループで行っている。1つの課題をグループで取り組む事はいい。

大橋：考え方は分かるが、実際講師が指導の流れを決めていく。課題解決の学習は相当な時間も要してしまい心配。

広瀬：科学的で知的な講座の2つの内1つを課題解決の学習講座に変更したらいいと思う。

岩元：子ども委員会等地域が抱える課題を出して子ども達がディスカッションしながら考え合い結論を出すのがいい。

大橋：今まで講座が出来たのは事業のノウハウを生かしたからこそで、講師の方達が提案してくれたから。今の話だとテーマを地運協で出さなくてはいけない。具体的に先生を紹介出来るなら話を進められるが講師の獲得が難しい。

加藤：今までの科学的で知的な講座を継続しながらグループで考え課題解決したらいい。

大橋：1年生に課題を考えてと言っても難しい。市民リーダーだからこそ容易に講座を開始出来るが、自前で講師を探すとなると打ち合わせも何回か行い、準備しないと成り立たないし考え方の枠を決めないと動けない。

森：講師・内容は科学的な事で行い、グループで話し合い課題解決したらいいと思う。また初めて出会った子ども達は主催者側が求める完成形をくれるかも分からない。

広瀬：完成は求めず5~6人で考えながら行うプロセスの中で学んで得てくれればいい。来年度の検討課題で大丈夫です。

森：まずは、午後の時間に行ってみて様子を見ればいい。

石川：防災の資格を持っている方が目黒巻きについて教えてくれた。目黒巻きだったら行いながら最後に発表する事が可能だと思う。

大橋：方向性が違うと思う。結果的には環境と謳っているが工作になっている。子ども達がどの様に考えて課題意識を持っていくのかを話しながら結論までは求めない事を話している。1つは夏休みの自由研究として使えるもの。もう1つは知的・興味関心を

引き上げるもの。実態からきていると感じている。子ども達に出来るだけ考えさせる様にして下さい・1年生～6年生まで同じグループで話し合える様にして下さい等は講師に依頼できる。内容の変更は時間的にも難しい。図書館講座・パン作り講座は行う。科学講座と算数講座の内容を考えた方がいいか。

加藤：広瀬委員は内容だけでなく運営の仕方についても変更したらと話している。

大橋：子ども達は話し合いを2時間も行う事は難しいと思う。話せて45分程度だと思う。

石川：前は講師に内容を一任。今年も講師は前回と重ならない形で用意してくれている。

加藤：一任ではなく、講師と話し合いをしたらどうか。

岩元：出来る子と出来ない子に分けるようにしない方がいい。

石川：最後にまとめると西砂図書館、楽しいパン作りに今年もお願いする。2つの小学校の夏休みがずれていたら2講座。一緒だったら3講座を実施する。今年も今までお願いしていた市民リーダーの科学の講座・算数の講座を依頼する。今回はグループ討議出来そうな講座を講師に確認し依頼する。

大橋：午後の時間に廊下で動いたり・黒板で絵を書いたりする子もいるので、時間を区切って講義を開けたらいい。映画は行ったらいいと思うし、いい案は出たが実際に講師に費用をかけずに行って戴けるかは確認が必要。費用は追加でかけられない。

加藤：市で持っている映画なら無料で借りられるし沢山あるはず。

大橋：午後は映画があるので5回ともシリーズの映画会プログラムやスライムづくりで埋められるといい。勉強会では持たない。勉強でないプログラムを帯で入れる。午後が変われば本当に良いと思う。

3. 報告及び連絡事項

(1) 前回の議事内容の確認（議事録）

大橋：何かあれば事務局へ。

(2) 地域学習館運営協議会交流会について（2月7日金PM6：30～開催）

事務局2名・大橋会長・加藤委員・岩元委員・小笠原委員 計6名参加

石川：砂川学習館で実施。その際に立川市地域運営協議会報告書が配られた。

岩元：初めて参加。他館の状況や活動内容が参考になった。大橋会長の報告内容が良かった。

大橋：各館が共通認識をしてもらわないと困る。実際に見ると活動報告が1番で、課題が2番になっている。課題が6館とも出てくると思ったが課題の情報交換ができるといい。地運協を運営していく上で課題があると思うが、課題提案が錦学習館のみであった。立地条件や交通費支給等若者を取り入れたい事にとっても課題がある。講座が中央館のみだところらがいけない為順番にしたらと思う。

西砂学習館は新しい人材をどのように取り込むかである。課題の話が他から出てこない事をととても残念に思うし、共通認識と共通実践が出来たらいい。

加藤：他館も課題はあるが言いづらい面がある。今回は発表の順番が悪かった。西砂は最後だったが2番目位に話をしていたら他館も課題を取り上げていたと思う。

広瀬：毎回課題提案の話は出てこない。課題提案の話が出てこない地域学習館運営協議会の発展はないと思う。勇気を出して言わないといけない。

大橋：他館は講座内容を全て発表しているが、講座内容は書面を見れば分かる。課題解決が交流会の役割だと思う。

(3) スタッフ研修会「地域学校協働本部事業」について

(3月24日㊤AM10:00~12:00 アイム 開催)

講師：五十嵐センター長

石川：センター長が講師。是非皆さん参加して下さい。

(4) フリースペースについて

小林：2月は2回実施。1回目はナンを初めて作った。2回目は児童館の講座依頼を受けた。楽しめて良かった。

(5) 各委員からの報告及び連絡事項について

加藤：西砂学習館で行う講座が少ないという事でデータを集計している中で西砂地区の住民の講座参加率が1番低い。理由は西砂学習館で講座を行わずに遠い館で行っていた。昨年度から西砂で積極的に行うようにしていて、今年度も森委員の団体主催のパソコン講座が非常に好評であった。今後も西砂学習館での講座を増やしていこうと考えている。具体的には9月5日にこいけけいこ先生の「市民交流クッキング講座」、森委員の「パソコン講座」を予定。他にも1~2講座予定している。

広瀬：3月で市民推進委員会を退任する。私はたちかわ市民交流大学市民推進委員会から派遣されて来ているので、自動的に西砂地運協の委員も退任することになる。始まった時から小林委員と共に一生懸命行ってきて非常に貴重な10年だった。

進藤：子育てグループのWestWaveと西砂・砂川地区のママ目線の新発見マップ作りが完成間近になってきた。完成に合わせてウォーキングイベントを3月25日に予定。

西砂児童館とソーシャルワーカーと合同でフードバンクを行う。いかに寄付をしてもらえるか、必要としている所に届けられるかの新しい仕組みづくりを取り組んでいきたい。上砂エリアで3月18日には集める方のフードドライブを予定。

岩元：文化会の今年度の事業は終わり。残っているのは3月8日の「西砂会館まつり」。会館利用者の発表やうどん作り、野菜販売等を予定。

小林：特にありません。

森：「エクセル講座」が無事に終了。増田委員含めて10名の参加者が楽しく学んだ。さらに新しく西砂パソコン倶楽部の活動に参加するメンバーもいた。3月は「ワード講

座」も予定。オリジナルな普段から活用できる講座を目指して頑張っていく。

西砂小学校コーディネーターの鈴木さんとお話した。来年度西砂小学校を漢字検定の会場にする話が出た。子ども達だけでなく一般の人も受験できる形で進めているとのこと。その中で西砂学習館で学習スペースの提供や講師を呼んで勉強会等の協力をして戴けるかを学習館から自発的に行って貰いたい話があった。コーディネーターの任期が3月末までなので、新しく4月からのコーディネーターに話が出来たらいい。

大橋：学習館や地運協から学習スペースの提供や講師を呼んで勉強会等の協力は難しい。学校側からコーディネーターを通して依頼するなら理解出来る。

増田：たちかわ市民みらい会議、たちかわ・財政を考える会では、2月15日に立川市総合福祉センターで開催される「第6回まちパ」に参加し、活動状況を来場者に説明する展示を行う予定。もう1つは多摩市の財政デザイン研究所と連携し、主権者教育の一環として初めて、3月10日に立川市立第8中学校で「立川市の財政」に関する授業を行う予定。教育委員会・校長会を経て授業を行う運びとなったことは、行政との連携面でとても大きな前進とを感じる。

大橋：皆さんの所に「立川市第5次あいあいプラン」を置かせて頂いた。私が策定委員になってパブリックコメントを行う素案が出来上がった。地運協は地域に関心の高い人達の集まりなので、依頼し10部送ってもらった。私が骨子をまとめた。会議では地域の現状として関わりが薄い、相談したくても相談場所が分からない、活動の担い手が不足している、情報が伝わってこない、情報が伝わっていない。以上の事がどこのエリアも課題となっている。解決出来る目標を作って、具体的な重点推進事項が出来た。「地域福祉アンテナショップの設置」は、お婆ちゃんから子育て中のお母さん達、誰もが身近に気軽に悩み事・困り事を相談出来る場所を作れることが1番いい。今、推進している事により福祉コーディネーターの体制が強化されたり、支援に繋がれば皆が住みやすい街になる。アンケートもあるので2月21日までに社協に意見を提出して戴けたら嬉しい。

石川：西砂学習館のチラシ配架スペースをきれいに整理した。

(6) 「立川市地域運営協議会報告書第5期の作成」

石川：報告書を作成するにあたり、感想や意見を頂きたい。

(7) 「次期立川地域学習推進委員運営協議会委員の選任について」

石川：5月末で各委員の任期が切れますが、次期についても引き続き宜しくお願い致します。

(8) その他

石川：西砂学習館まつりについて簡単に報告。2月5日に第1回連絡会改め実行委員会が開

催された。今回から実行委員会形式になり、初代代表は和太鼓「市の一」の山田さんに決まった。地運協は実行委員会参加団体になった。